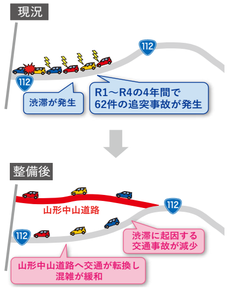
山形中山道路に期待される整備効果

交通混雑の緩和

国道112号は、山形市と共に生活圏を形成する寒河江市・中山町・山辺町を結ぶ主要幹線道路ですが、日常的な交通混雑が発生しています。死傷事故率も高く、交通混雑に起因する「追突事故」や、沿道出入りに伴う「出会い頭事故」などが多発しています。

山形中山道路の整備により交通が分散され、交通混雑緩和と事故減少により、地域間を結ぶ円滑な道路ネットワークの確保が期待されます。

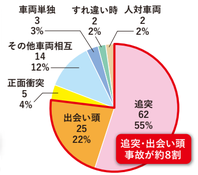


▼ 山形中山道路現道区間の交通混雑状況



（R6.8.5 朝ピーク時撮影）

▼山形中山道路現道区間の事故類型割合



資料:R1～R4イタルデータ

山形市内工場の声



●従業員は市内だけでなく周辺の市町からも通勤しております。

●山形中山道路の整備により、国道112号の混雑が緩和され通勤面で従業員の負担や事故リスクが減ることに期待しており、寒河江方面からの通勤は山形中山道路利用になると思います。

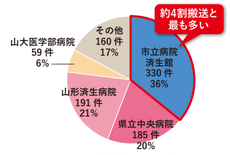
資料：ヒアリング結果（R6.7）

救急医療活動の支援

中山町・山辺町の心筋梗塞を含む多くの救急患者は、山形市立病院済生館をはじめとした山形市内の病院へ搬送されています。しかし、搬送経路となる国道112号は幅員が狭く、積雪時には更なる幅員狭小により、速度低下や追越しが困難となるなど救急搬送に課題があります。

山形中山道路の整備により、病院へのアクセスが向上するなど、地域の救急医療活動を支援します。

▼ 中山町・山辺町からの救急搬送実績（R5）

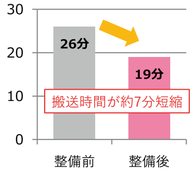


資料：救急搬送実績（山形市消防本部）

▼ 中山町・山辺町から山形市立病院済生館への救急搬送ルート



▼中山町から山形市立病院済生館までの平均搬送時間



資料：R3 全国道路・街路交通情勢調査
※昼間 12 時間平均旅行速度で算出
※整備後の山形中山道路は 70 ㎞/hで算出

▼積雪時の山形中山道路現道区間



（H29.1.13 撮影）

管内消防本部の声



●救命救急において搬送時間の短縮は、病院への早期収容が可能となり、心筋梗塞など重篤患者の救命率の向上・後遺症の軽減が期待されます。

●国道112号は幅員が狭く、渋滞時は追い越しが出来ず逃げ場がないため、搬送に時間を要します。特に朝夕ピーク時や積雪時は幅員狭小の影響がより顕著になります。

●山形中山道路の整備により、搬送時間短縮に加え、安定した搬送が可能となり、救急患者の負担軽減が期待されます。

資料：ヒアリング結果（R6.6）

山形河川国道事務所管内の道路改築事業

山形河川国道事務所では、国道13号、47号、48号、112号、113号の5路線と東北中央自動車道の整備や管理を通じて、県内の産業振興に欠かせない交通基盤の構築に取り組んでいます。



国土交通省 東北地方整備局
山形河川国道事務所

〒990－9580 山形市成沢西四丁目3－55
TEL.023-688-8421（代） FAX.023-688-8391

山形河川国道事務所ホームページ
https://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/

山形河川国道 検索

事務所 HP

公式X（旧Twitter）

令和8年2月作成



山形中山道路起点部（山形市西崎）より北側を望む

国土交通省 東北地方整備局
山形河川国道事務所

国道112号 山形中山道路

事業概要

山形中山道路は、山形市内の交通混雑の緩和と地域間連携の支援などを目的として整備する延長約7.4㎞のバイパス事業です。

山形都市圏の交通混雑を解消し、地域間を結ぶ道路ネットワークを確保するとともに、山形市と周辺市町村との救急医療などの地域連携を支援します。

計画諸元

起　点	山形県山形市西崎
終　点	山形県東村山郡中山町大字達磨寺
延　長	7.4km
車線数	2車線
道路区分	第3種第1級
設計速度	80km/h

事業の経緯

平成10年度	都市計画決定
平成28～30年度	計画段階評価（第1回：平成28年度 第2回：平成29年度 第3回：平成30年度）
令和元年度	都市計画変更／新規事業採択時評価
令和２年度	新規事業化
令和４年度	用地着手
令和５年度	工事着手

標準断面図

